

令和3年度 学び舎ひまわり第3講 開催報告

日時：令和3年10月9日（土）13時～15時

会場：港南区役所601・602号会議室

参加人数：地域受講生 10名 職員枠受講生 7名 計17名

第1講（9月4日）第2講（9月11日）は、緊急事態宣言が発令されており、残念ながら対面での開催は中止、受講生の皆さんに講義や事例紹介の動画を視聴していただく形となりました。今回初めて顔を合わせて意見交換をすることが出来、どのグループも活発な様子が見られました。

第1講 動画

講師による講義「港南区のまちの成り立ち」



第2講 動画

地域活動者による活動の紹介



開校にあたって

コロナ禍で出来ることが限られている中、地域の取組には様々な工夫や合意形成の仕方が見られます。

近くの地域の人同士、異なる地域の人同士、また住民と関連職員との間にリアルな関係が築けるよう、講座に参加してほしいと思います。

ここで人間関係が、地域運営、地域支援にきっと役立ちます。



講師
内海 宏 氏

第3講 講座の内容

第2講の動画にて紹介した4つの活動事例に関する意見交換を行いました。

事例1 マルシェ（市場）でまちづくり 笹下台団地自治会（笹下）

岡田 正紀 氏



既存の高齢者サロンが開催できない中、週1回の移動販売の会場を住民同士の交流の場としている。出店数を増やしたり、農園でとれた野菜の販売をしたりと、常に工夫をし、賑わいを見せている。

受講生の意見

- ・責任を一人で負わないような仕組みが出来ている。
- ・農園などが出来る「場所」があるというのは良いと思う。
- ・地域の活動は大事、自分達のまちを自分たちの力で良くしていこうという皆さんに感動。
- ・コロナにおびえる皆さんが安心してできるようにリーダーが導いている。
- ・地域の方と「おしゃべり」するのが大事だと思う。自分も地域でカフェを開催している。



- ・何か始める時は一人ではなくみんなで取り組む事が大事。
- ・新しいことに挑戦しようという気持ちとそこに関わろうとする地域の住民の一体感がいい。
- ・主旨を変えずやり方を変える。目的はぶれない。

事例2 環境美化活動でまちづくり 大北町内会（日野第一） 小林 良雄 氏



防犯パトロール時にごみ集積所の状況を点検し、状況を自治会内で共有することで住民のごみに関する意識共有を図っている。また、環境美化に関する住民アンケート、ポスターや川柳の募集、標語を町内会で募集し、集積所に掲示している。

受講生の意見

- ・アンケートを取ること自体がすごい。
- ・現状を把握することで、今後の意識啓発も併せて行っている。
- ・子どもたちを巻き込むことで、小さいころから環境美化について知ってもらえる。



- ・ゴミに関する取組（環境系）は男性が取り組みやすい活動かもしれない。
- ・「ついで活動」は合わせ技が出来、色々な工夫が考えられる。

事例3 防犯防災、交通安全でまちづくり 野庭住宅第一自治会（野庭住宅） 若松 和人 氏



防犯防災パトロールや防災訓練を、警察、消防署と連携して内容を充実させている。また高齢者の交通事故防止を目的に、県警本部、港南警察署と連携し、道路横断シミュレーションを行った。

受講生の意見

- ・意欲的にやっていくことが一番大事。
- ・行政団体など周りの力を借り、周囲を巻き込むことでいい方向に進んだ。
- ・防犯カメラ設置は、映ってしまっている家などの許可が課題となる。
- ・地域の団体同士がうまく連携することで住民からの苦情が減り、活動がスムーズに。



- ・若手に任せてくれる自治会長の運営がいい。
- ・防犯パトロールを365日2名以上で行い、18年間続いている地区もあった。40名ほどが登録しているという規模がすごい。

事例4 楽しいイベントまちづくり 永谷地区社会福祉協議会 若林 諭 氏



コロナ禍で対策を行いながら、大規模イベント「親子で遊ぼう ぽっぽにのって」を開催。地区社協、連合、子ども会などが協力し、当日は200名を超える親子連れで賑わいを見せた。住民にとっての自治会町内会・地区社協の存在意義を常に意識しながら活動を継続している。

受講生の意見

- ・ 機関車を貸してくれる人がいることに驚いた。
- ・ 例年以上の盛り上がりによりコロナ禍での人々の我慢が表れていると思う。
- ・ イベントの成功には支えてくれる人々の協力が必要と感じた。



- ・ 子どもが集まり、楽しめることがイベントの盛り上がりには必要。
- ・ コロナ禍での対策は特に基準がなく、自治会に任されているので正解がなく難しい。その結果中止になっているのが現状。

学びのまとめ 集計結果

回答数 17件 回答率 100%

満足	やや満足	やや不満	不満	未提出
14	3	0	0	0
82.4%	17.6%	0%	0%	0%

受講生の主な意見

- ・ 町内会運営は完全なボランティアなので、若い人がどうやったら入ってくれるか考えたい。
- ・ 他者の取組がわかり、取り入れてみたいこともあった。
- ・ 地域による「差」が大きいことを知った。
- ・ 意見交換しながらだったので、短く感じた。
- ・ 地域毎にグループになっていたのでよく理解できた。
- ・ 似ている活動であっても「組み合わせ」や「ついでに活動」等の気づきがあった。
- ・ コロナ禍で考え方への柔軟性を求められた。
- ・ 直接地域の人と議論が出来る貴重な機会となった。（職員）